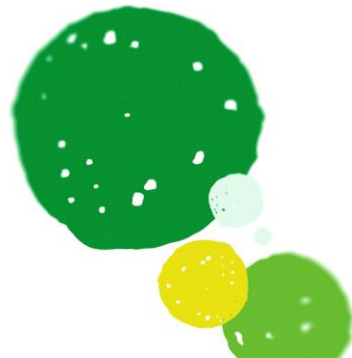


■事業の目的・目標



共生型新産業創出
コロキウム

今まさに活用が期待されている「**微細藻類**」に注目し、生物の力を活用しながら、かつ生物圏にできるだけ負荷をかけない、環境と調和し共生して人々のwell-beingを叶える「**共生型新産業**」の創出に資する人材とそのネットワークを育成する講座を実施する。

■事業概要

- ✓ **微細藻類を活用した環境調和型産業の創出**を目指し、科学リテラシーを持った多面的な視点と知的基盤を身につけ、持続可能な産業を生み出すことのできる**人材を育成する1年半の講座**を実施する。
- ✓ **社会人と学生が共に受講**し、各受講者が持つバックグラウンドを生かして**協働し、新たな共生型産業につながる提案**を生み出す。
- ✓ 講座の講師、フィールドワーク先、交流会などに企業が参加する場をつくり、**産業界と研究の現場のつながり**を育む。さらに、講座終了後も**産官学連携コミュニティとして継続的な協働とネットワーク形成を支援し、共生型新産業創出の基盤形成**を目指す。

■2024-2025年度の主な成果

- ### ① 講義・実習・フィールドワーク

 - **社会・環境・ビジネス、微細藻類のバイオロジーや活用等の幅広いテーマについて、多彩な講師によるオムニバス講義とディスカッションを実施**
 - 共生型新産業に必要な幅広い視座と洞察力を育む講義：9回(105分/回)
 - 微細藻類の活用に取り組む企業の現場からの講義：8回(105分/回)
 - **微細藻類の採取や観察、培養、有用化合物の抽出工程・分析方法を体験**
 - ハンズオン実習：2日間
 - **国内・国外の微細藻類活用事業拠点を訪問し、現場見学と意見交換により知識を深めると共に、事業に関わる方々との交流を通じ、ネットワークを形成**
 - 2024年12月（広島県）一般社団法人日本微細藻類技術協会(IMAT)他
 - 2025年1月（佐賀県）一般社団法人さが藻類バイオマス協議会他
 - 2025年8月（海外）CHITOSE Carbon Capture Central: C4(マレーシア)他 Chitose Algae Farm(ブルネイ)他

- ### ② 受講者による提案創出

微細藻類を基点とする共生型新産業のアイデア創発や提案に向けて実施

 - **新たな産業の提案創出につなげるワークショップ**：
前期 ワークショップ1日間／後期 提案ワークショップ3日間
 - **ビジネス創出のプロからのメンタリング**
 - **受講者による提案ピッチと最終提案書の作成・提出(7件)**
(提案例) - 環境と利益を両立する、藻類排水処理事業
- 『藻道』—微細藻類由来の「黒」でカーボンブラックを代替する—

- ### ③ シンポジウム開催・講義アーカイブ公開

 - **公開シンポジウムを開催、YouTubeでアーカイブ動画を公開**
 - 2024年7月 「人と地球のwell-beingを叶える新たな産業とは—微細藻類を基点に—」
 - 2025年11月 「バイオロジーがソウゾウする未来—生きものの力で、共生社会を描く—」
 - 2026年2月 「バイオものづくりで次世代産業をひらく「共生型新産業創出コロキウム」講座 第1期成果発表」
 - **発信・普及のためのコンテンツを作成、公開**
 - 講義のアーカイブをベースとした教材(15本)を公開
 - 提案の要点をまとめたNon-confidential Abstract(7件)を公開
 - noteマガジン、コースブックを公式ウェブサイト等で公開

■課題と今後の取組

- ### 課題

 - 継続的に人材を育成するための経済的基盤
 - 微細藻類の産業化に向けた関心の広まりが不十分
- ### 今後の取組

 - 講座の経験や人的ネットワークがどのように結実するかを把握し、次期講座に反映する
 - 微細藻類に関わる事業者・研究者、第一期講座の講師とアラムナイ(修了生)等によるコミュニティの形成を支援する
 - 公開された成果をもとに、展示会等に出展し、さらなる発信・普及をはかる

■実用化・事業化の見通し

- 挑戦的でありつつも実現可能性を備えた微細藻類を基点とした新産業の構想を企業等や社会へ発信し、その後の産業創出につなげる
- 業種や産・官・学の壁を超えて多面的な視点と知的基盤を身につけた人材が、産業界の現場と研究の現場につながり、新たな事業に向けて協働することができる場を提供する
- 2025年度の事業実施成果、ネットワークを活用し、2026年10月より第2期講座を開講する

実施団体



講座概要

○ 開講期間：2024年10月～2026年3月

前期 2024年10月～2025年3月

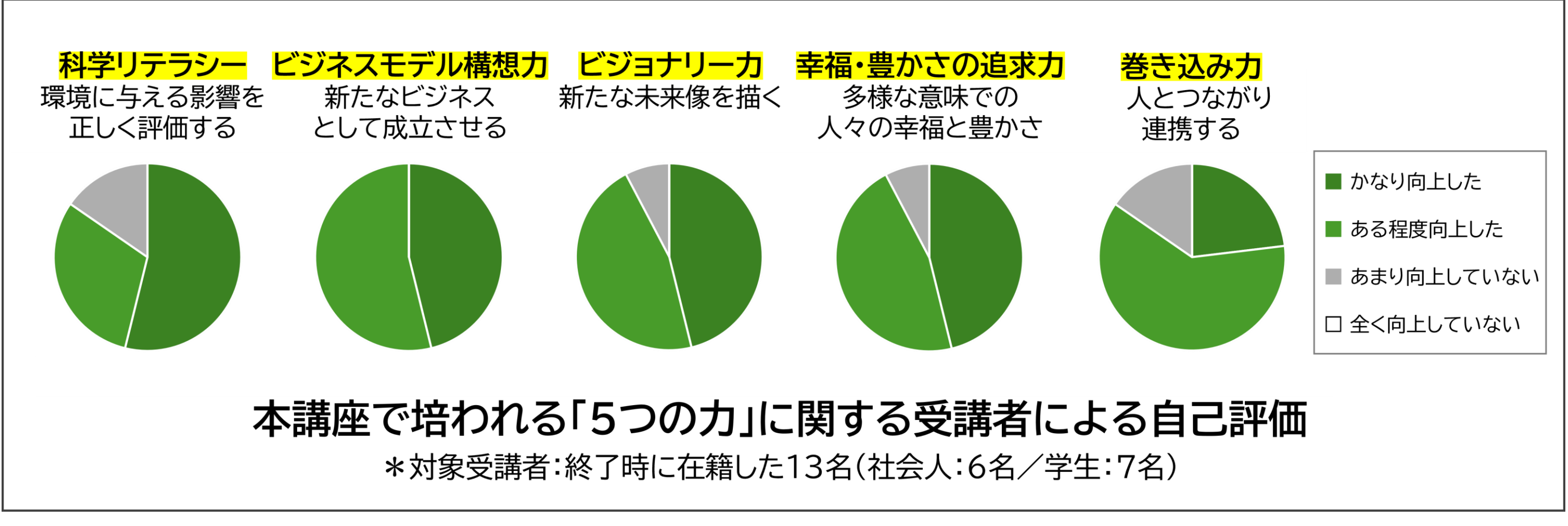
後期 2025年4月～2026年3月

○ 受講者数：前期 16名(社会人 6名/学生 10名)

後期 15名(社会人 6名/学生 9名)

○ 受講者の主な属性：

メーカー(研究開発職、マーケティング職、新規事業開発)、商社系(事業開発)、エネルギー事業者(技術戦略、次世代技術)、大学生・大学院生(農学・生命科学系、理工系、国際政治系、経済系)



受講者の声



微細藻類がなぜ今注目されているのか、その社会的背景や科学的根拠を体系的に理解できたことで、環境価値を正確に説明・発信できるようになった。科学的リテラシーに基づいた判断が極めて重要であることを改めて強く認識し、変化の大きい時代には学び続けること自体が重要な力になることを実感した。(塗料メーカー・マーケティング職)

第2期講座 開講（2026年10月～2028年3月）



前期(2026年10月～2027年3月)

社会人募集期間 終了

後期(2027年4月～2028年3月)

社会人募集予定 2027年1月頃

◀ 詳細はウェブサイトをご確認ください